

令和7年度 第3回 萩丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月17日（月）14時30分～15時50分
- 2 開催場所 萩丘小学校 会議室
- 3 出席議員 鈴木 莞爾、森 健、長谷 昭浩、岡本 譲、大橋 邦久、渡邊 貴子、
北田 由美、増崎 桂、門奈 正洋
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 須藤 邦夫（校長）、中村 隆紀（教頭）、大村 直弘（主幹）、鈴木 かおり（CS
ディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 鈴木かおり
- 8 議長選出 司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、出席した委員か
ら長谷委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 9 協議事項
 - （1）学校の抱える課題と改善策について
 - （2）次年度の教育活動の方向性について
 - （3）全国学力調査の結果報告について
 - （4）90周年をお祝いする会について
- 10 報告
 - （1）本校のコミュニティ・スクールの支援の振り返り
 - （2）その他
- 11 会議記録 委員9名出席があり過半数に達しているため会議成立している旨の報告が
あった。

【協議事項】

(1) 学校の抱える課題と改善策について

校長より説明があった。萩丘小は比較的たいへんな学校の一つだと思われているが、実際は活気があり子どもたちも人懐っこく明るい良い学校だ。しかし暴言は気になる。担任は疲弊している。叱ればいいと思うかもしれないが叱られ慣れていない。どう伝えたらいいか悩んでいる。保護者と連携したいと思い連絡するが、家ではそんなことはない、担任の指導力不足ではと思われる。若手教員の電話対応には先輩教員がフォローしている。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、発達専門家等の紹介、連携。学校と保護者の信頼関係がないとトラブルになりかねない。

不登校も徐々に増えてきている。萩丘小独自で作った「ぬくもり学級」は10名程度在籍。「ぬくもり学級」に通い勉強し始めた子もいる。今後の運営が課題。

児童、保護者の対応で心を痛め休職する教員が毎年のようにでてくる。経験豊富な職員も休職していく。フォローしながら学校運営をしている。

今と少し前との世代間ギャップが出てきている。今までやってきたから続ける指導ではなくなっている。「小学生らしい服装とは。」「持ち物とは。」多様化している。学校へ行かせない親も増えてきている。手紙のニーズも減り郵便局の手紙の書き方指導もわが校だけ。学校だけでなく保護者、地域と足並みを揃えてやっていきたい。

(2) 次年度の教育活動の方向性について

校長より説明があった。小規模改修があるため1月下旬から9月下旬まで運動場部分的に使用不可。体育館は4月中旬から5月下旬使用不可。音楽室、家庭科室、花壇にも影響がある。そのため行事の時期、授業カリキュラムに変更がある。(運動会を秋、林間学校を春に)

* 体育館の空調はつくるのか。(鈴木委員)

・付かない。屋根が二重になるので暑さは和らぐのでは。(校長)

子どもたちの下校後、職員退勤まで1時間しかない。授業準備、採点、会議等こなすのは困難。早帰りをもう一日増やし週28時間にする。

* 週28時間、萩丘小単独でできるのか。(長谷委員)

・実際にやっている学校があり、却下されることはない。(校長)

(3) 全国学力調査の結果報告について

主幹より資料に基づき説明があった。国語、算数、理科ともに低い結果だった。朝食を毎日食べている、塾ではなく自分で机に向かう勉強時間も低い結果だった。今後、授業展開を工夫し良いところはさらに伸ばし、改善点については対策を講じ学力の向上に努めていきたい。

* 塾に通っている比率は。(岡本委員)

・項目にないのでわからないが、習い事 塾は多いと思う。(主幹)

・二極化しているのでは。習い事は多いかもしれないが、学習塾はそれほど多くない。(校長)

* 自分の今の力を見るのにはいい資料。同じ問題が出たとき理解できているのか。書き取りも写すだけになっていないか。手本がないとわからなくなってしまう。間違えることが大切だと伝えている。中学生になったとき今の取り組みが続き結果を出せることが大切。(大橋委員)

* 6年生はコロナ禍1年生だった。昼休み 取り出し支援していたGUNGUNがなくなった影響はあるのか。3、4年の算数のつまずきが6年生で影響があるのでは。(渡邊委員)

・GUNNGUNでは教えるというより、困った時のフォロー、認めてあげる、背中を押してあげることが主だった。(大橋委員)

・勉強できる機会があるというのは良いことでは(渡邊委員)

・点数を上げるだけならいろいろな方法があるが、点数に表れていないコミュニケーションを含めた学校の特色を活かした対応が大切。学力向上プログラムも立ち上げている。友達と遊ぼうと思っている子どもの休み時間を奪って勉強させるのがいいのか。試行錯誤取り組みをしている。上位層も含め一人一人の力をきちっと上げていくことが大切。(校長)

(4) 90周年をお祝いする会について

主幹より90周年をお祝いする会・学習発表会について出席者、横断幕作製・展示、歴史館、子供たちの活動等の説明があった。

・90周年について はごろも財団からの補助金があった。(校長)

* 歴史観はどうやってみせていくか。地域に情報、卒業生に情報が流れてこない(門奈委員)

・12月5日(金)から解放。さくら連絡網、学校だより、回覧順、ホームページで伝えていく。(校長)

【報告】

(1) コミュニティ・スクールの支援の振り返り

北田委員より2学期の関連授業についての説明があった。

1年生「じぶんでできるよ」一般衣類や特殊品など幅広く扱うクリーニング業(講師、浜松白洋舎)クリーニングのプロが教える服のたたみ方。工夫次第で様々な方法があることを学んだ。(家に帰った後も実践でき、できることを増やし苦手なことの挑戦するきっかけに)

増崎委員より資料に基づき学習支援活動報告があった。3年校区探検では、幸会館の屋台

小屋、大風収納庫、消防ポンプ車収納庫、また大聖寺の見学をした。調べ学習では知りえない体験をすることができた。地域を知って興味を深める学習を地域の方と協力して増やしていきたい。90 周年記念式典に向け「くすのき」さんをはじめ自治会、ものづくりサポーター、地域みなさんのご協力いただいた。環境を整えること、コミュニケーションをとること、繋げること。改めて大切に感じた。ご協力をいただき感謝している。

(2) その他

①岡本委員より住吉バイパス 雨水排水改修工事について説明があった。

②渡邊委員より朝ごはん支援について提案があった。以前実施した朝食アンケートで朝食摂取率低下、孤食が問題として上がってきた。そのため朝ごはん支援の企画を提出中。学校内で家庭科室を開放、7 時ころから調理はせず軽食を提供。どのくらいの子が必要としているのか参加票を提出してもらう。事前調査が必要。今 朝食摂取できている子、親にも大切さを知ってもらいたい。

*費用は？（鈴木委員）

- ・自治会の協力を得たいと考えている。事前申し込みで一人 200～300 円（渡邊委員）
- *食べられる環境にあるがこの制度があると頼ってしまうのでは。（岡本委員）
- ・経済面だけでなく時間の問題もあるのでは（鈴木委員）
- ・まずは一度やってみたい。どのくらいのニーズがあるのか知りたい。（渡邊委員）
- ・最初に自治会に予算の面も打診してみないと（長谷委員）
- *教育委員会へは調理をしないという条件で打診している。まずはニーズの把握。費用についてはもっと検討が必要。一度試行してみてはどうか。学校と地域がやることで啓発になる。（校長）

*給食に差しさわりがあるのでは。（岡本委員）

- ・少しの量なので。食べるか食べないかの選択は保護者にも協力してもらう。（渡邊委員）
- ・昔、朝からぐったりしている子がいて、朝担任が食べさせることもあった。そんな子たちが来るとは限らないが。（大橋委員）

*子ども食堂の人と相談してみても。（門奈委員）

- ・高台ワビが関わってくれている。（渡邊委員）
- ・実施の時には見学してほしい。（校長）

*いつ計画しているのか。（長谷委員）

- ・2 月に考えている。本年度中に 1 度。（渡邊委員）

司会から次回会議は、令和 8 年 2 月 16 日（月）14 時 30 分から会議室で開催する旨の報告があった。